

令和4年度 エコオフィス 取り組み結果等について

2023/8/24

令和5年度環境マネージャー会議 資料

令和4年度エコオフィスプラン目標一覧

項目	基準値	令和4年度目標
電気(CO2排出量)	3,895,661 kg-CO2	3.2% ↓
水道使用量	116,018 m ³	2.5% ↓
公用車等燃料(CO2排出量)	387,756 kg-CO2	5.5% ↓
〃 走行距離(CO2排出量)	10,042 kg-CO2	0.6% ↓
その他燃料(CO2排出量)	796,932 kg-CO2	5.5% ↓
コピー用紙使用量	24,989 kg	2.5% ↓
ごみ排出量	97,386 kg	4.4% ↓
温室効果ガス排出総量	5,090,391 kg-CO2	3.6% ↓

※基準値は2019年度実績

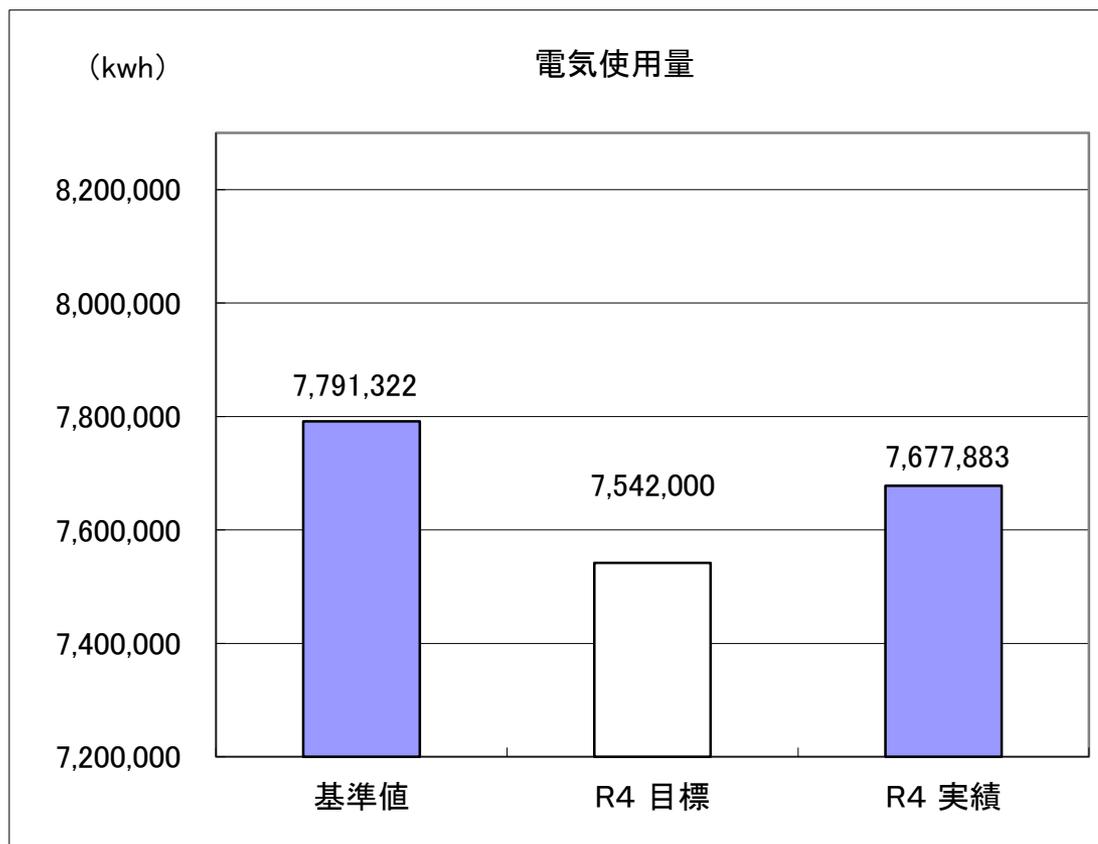
電気使用にかかる温室効果ガス排出量を、2019年度比で3.2%以上削減します。
[達成状況：○]

4.6%の削減となり、目標を達成できました。

電気使用量は、2019年度と比較して1.5%減少しました。また、温室効果ガス排出量の算定に用いる排出係数が基準年度の0.500から0.484に下がったことにより、排出量に換算すると4.6%減少しました。

	2019年度 (排出係数：0.500)	2022年度 (排出係数：0.484)	増減率
温室効果ガス排出量	3,895,661 kg-CO ₂	3,716,095 kg- CO ₂	△4.6%
参考：電気使用量	7,791,322 kwh	7,677,883 kwh	△1.5%

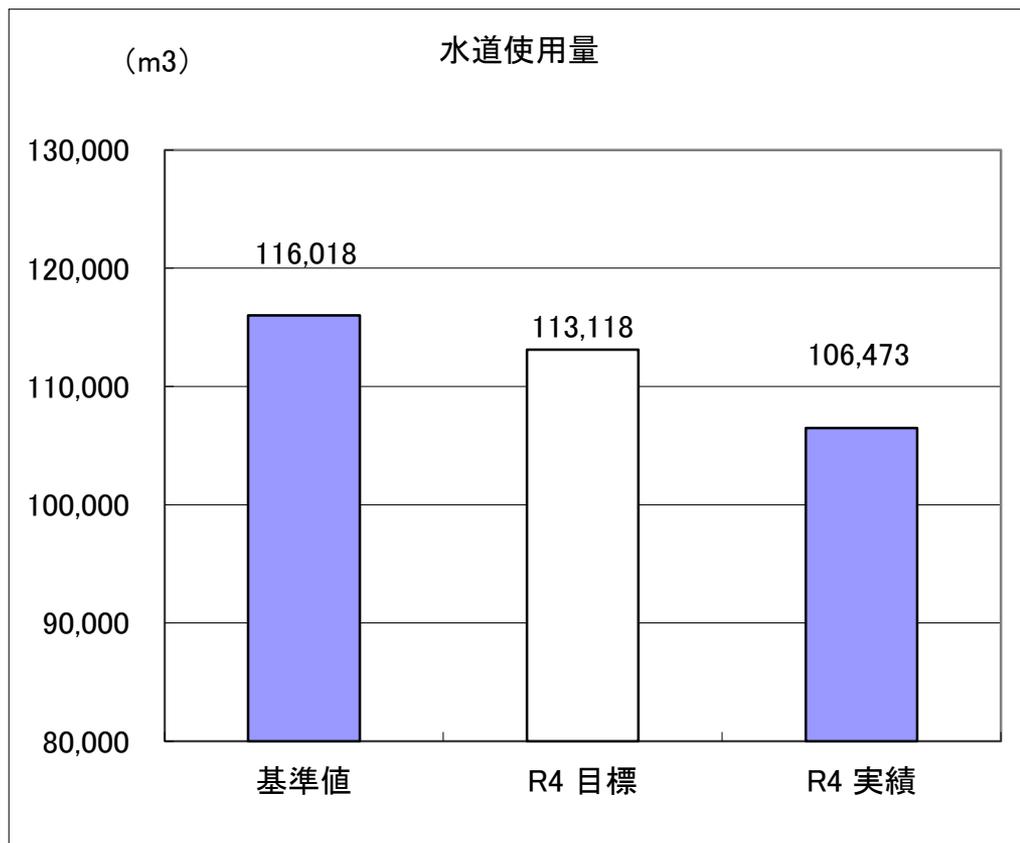
電気使用量



電気使用量の合計は7,677,883kwhで、排出係数をかけた温室効果ガス排出量は令和元年度比3.2%の削減目標に対し、4.6%の減少となり、目標を達成できました。一方で、コロナ縮小で施設利用が回復傾向にあり、コロナ禍前の水準に戻りつつある施設もあります。

状況に応じて、こまめな消灯や設定変更など、できる範囲で日頃から節電に努めましょう。また設備等の新設・更新の際は、省エネ機器の積極的な導入をお願いします。

水道使用量



水道使用量の合計は106,473m³で、2.5%の削減目標に対し、8.2%の減となり、目標を達成しました。6年連続の達成となります。

引き続き限りある水資源の有効利用にご協力をお願いします。

公用車等の燃料使用にかかる温室効果ガス排出量を、2022年度までに2019年度比で5.5%以上削減します。

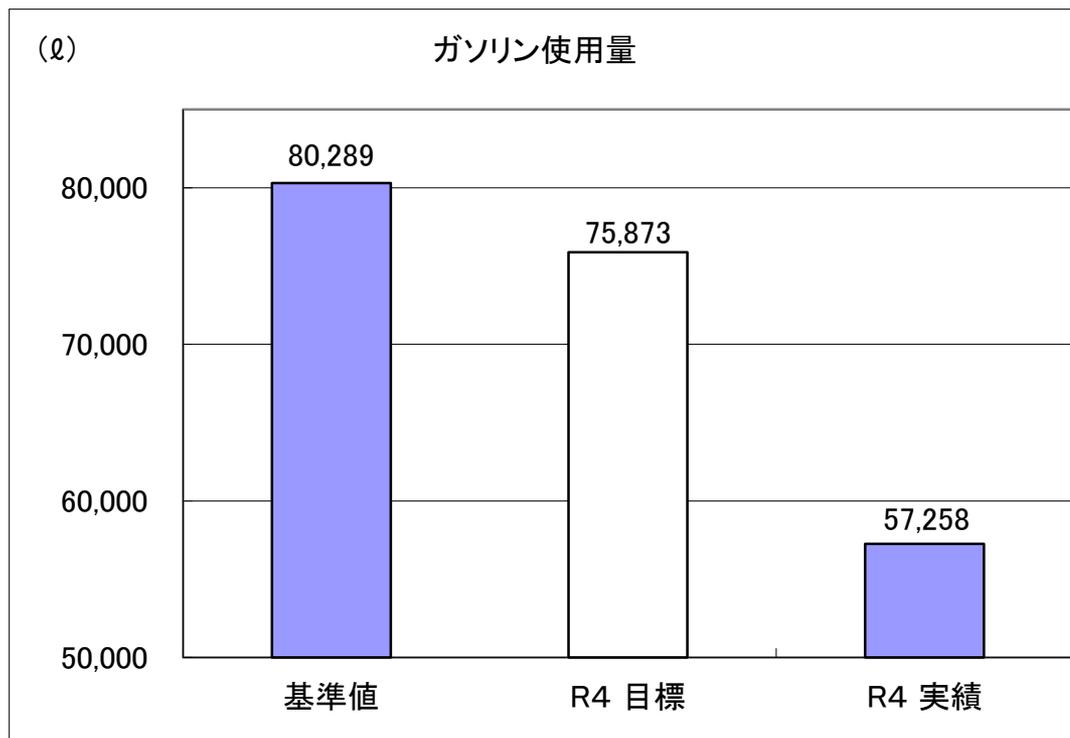
[達成状況：○]

9.7%の減少となり、目標を達成できました。

ガソリンは主に公用車、軽油はバスやスキー場の降雪機の燃料として使用されています。web会議・研修が定着し、出張の機会が少なくなっているため、特にガソリンの使用量が減少しました。

	2019年度	2022年度	増減率
温室効果ガス排出量	387,756 kg- CO2	349,894 kg- CO2	△9.7%
参考：ガソリン使用量	80,289 ℓ	57,258 ℓ	△28.7%
参考：軽油使用量	78,095 ℓ	84,130 ℓ	7.7%

ガソリン使用量



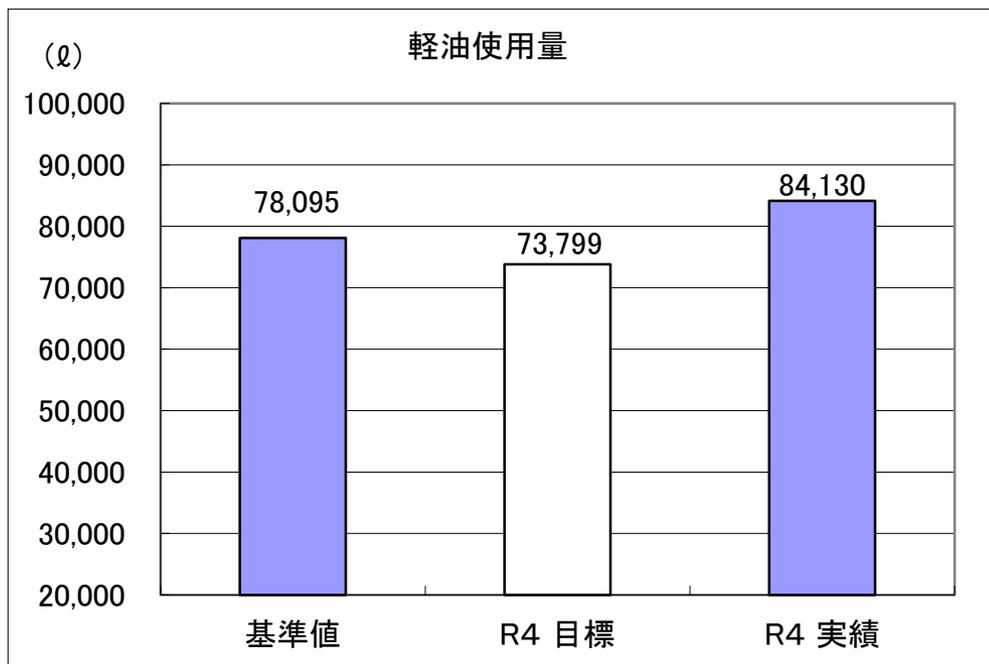
ガソリン使用量は57,258ℓで、5.5%の削減目標に対して28.7%の減となり、大幅に目標を達成しました。

ガソリンは、主に公用車の燃料に使用されています。

昨年と同様コロナをきっかけに、年間を通じてweb会議・研修が定着し、出張が減ったことが主な減少の理由と考えられます。

引き続き、近距離の移動はできるだけ徒歩や自転車を利用し、車利用時は乗り合わせやエコドライブに努め、また公用車の購入時はエコカーを導入するなど、削減の取り組みをお願いします。

軽油使用量



軽油使用量は84.130ℓで、5.5%の削減目標に対し、7.7%の増加となり、目標を達成できませんでした。

軽油は、主にバスなどの公用車やスキー場の降雪機の燃料に使用されています。

R4年度はスキー場の営業時間が基準年度比で長かったことが、増加の一因と考えられます。

公用車の使用にかかる温室効果ガスの排出量を、2022年度までに2019年度比で0.6%以上削減します。

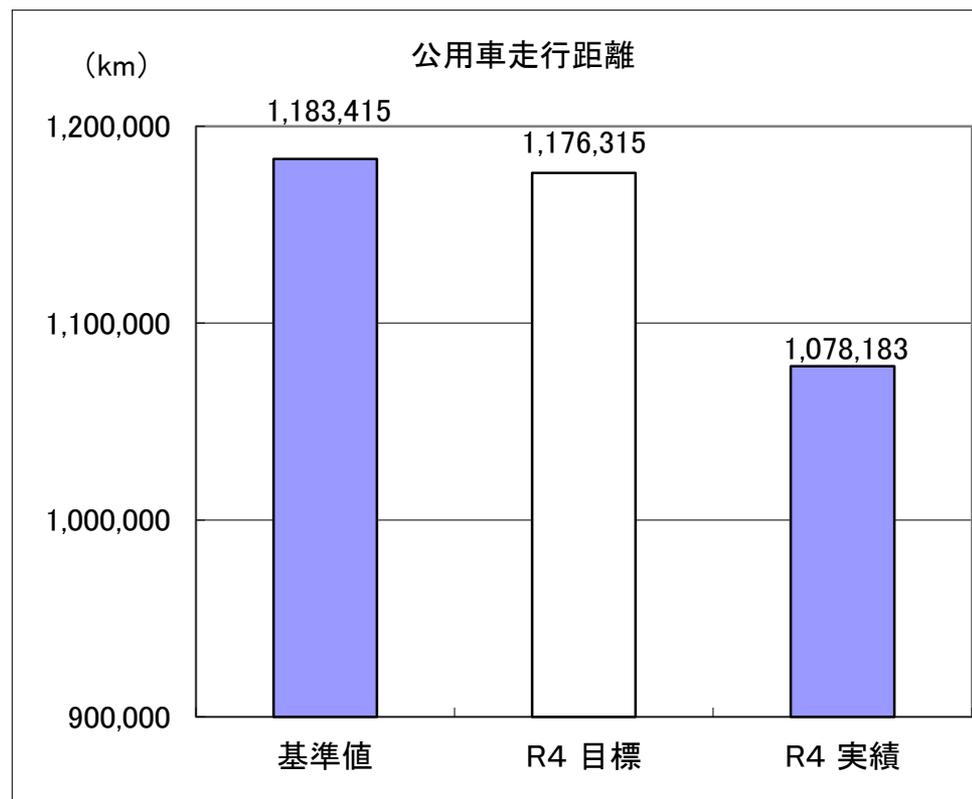
[達成状況：○]

21.5%の削減となり、目標を達成できました。

コロナ禍で出張の機会が減ったことが、走行距離の減少の主な要因と考えられます。

	2019年度	2022年度	増減率
温室効果ガス排出量	10,042 kg-CO ₂	7,879 kg-CO ₂	△21.5%
参考：走行距離	1,183,415km	1,078,183 km	△8.9%

公用車走行距離



公用車走行距離は1,078,183kmで、0.6%の削減目標に対し、8.9%の減となり、目標を達成しました。

ガソリン使用量と同様、年間を通じてweb会議・研修が定着し、出張が減ったことが主な減少の理由と考えられます。

今後、徐々に出張の機会も増えてくると思われますが、日頃から、乗り合わせやエコドライブに努めるなど、引き続き削減にご協力をお願いします。

エコドライブとは

○CO2の排出量を抑え、燃費を向上させる運転方法

例) ゆっくり加速する、車間距離をとり、加減速を減らす など

○エコドライブの効果

- ・ 燃費の向上、ガソリン代の節約
- ・ CO2排出量の削減
- ・ 事故のリスクが減る

誰にでもできる、新しい技術を必要としないアクション

その他燃料使用にかかる温室効果ガスの排出量を、2022年度までに2019年度比で5.5%以上削減します。

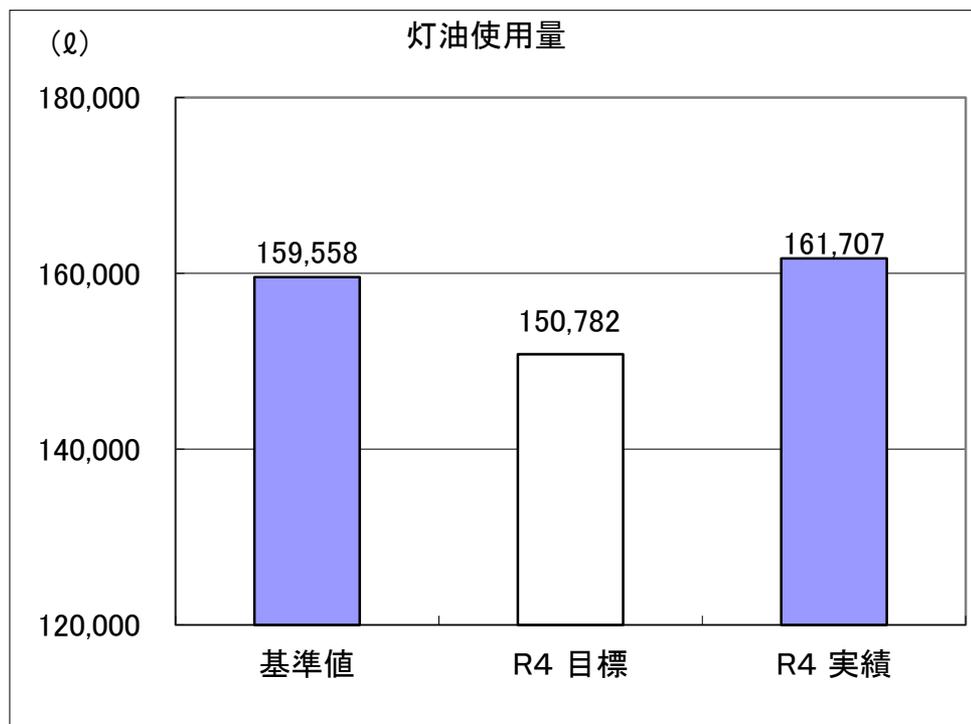
[達成状況：○]

7.6%の削減となり、目標を達成できました。

灯油は近年、ほぼ横ばいで推移しています。A重油は、設備の更新等により使用量が減少しました。LPGは、コロナ禍以降、飲食を伴う会合やイベント等の機会が少なくなり、使用量が減少しています。

	2019年度	2022年度	増減率
温室効果ガス排出量	796,932 kg- CO2	736,681 kg- CO2	△7.6%
参考：灯油使用量	159,558 ℓ	161,707 ℓ	1.3%
参考：A重油使用量	61,702 ℓ	52,122 ℓ	△15.5%
参考：LPG使用量	35,484 m ³	29,432 ℓ	△17.1%

灯油使用量

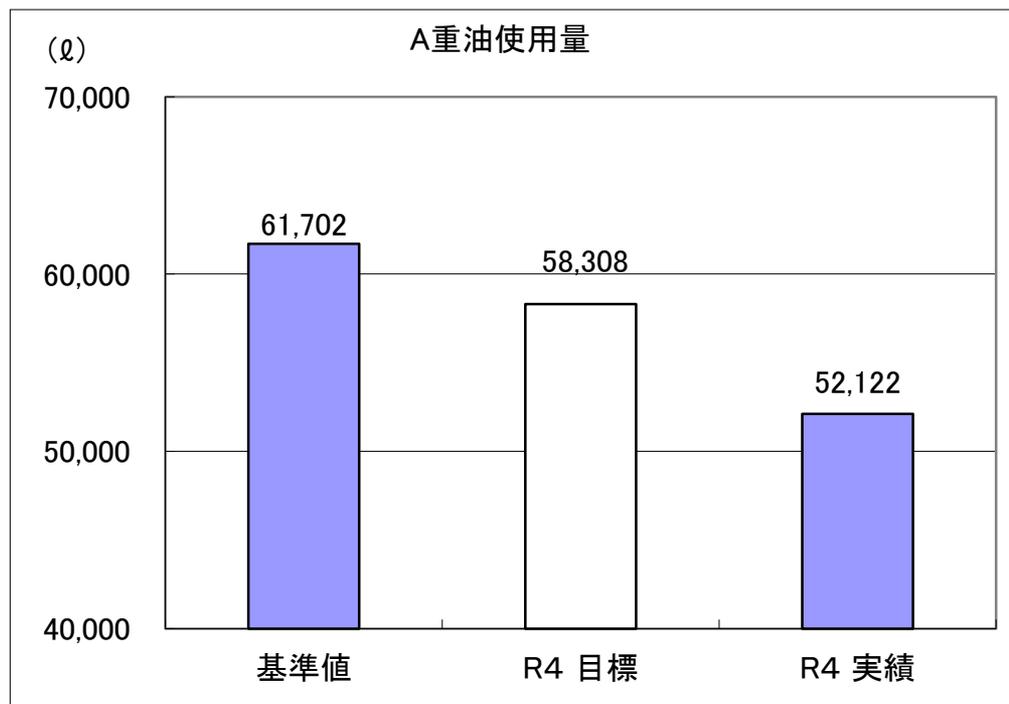


灯油使用量は161.707ℓで、5.5%の削減目標に対し、1.3%の増加となり、目標値を達成できませんでした。

灯油は、一部施設の冷暖房や、クリーンセンターの助燃材などに使用されていますが、近年、ほぼ横ばいです。

灯油利用の暖房設備を更新する際には、バイオマス機器の導入を検討するなど、使用量の削減にご協力をお願いします。

A重油使用量

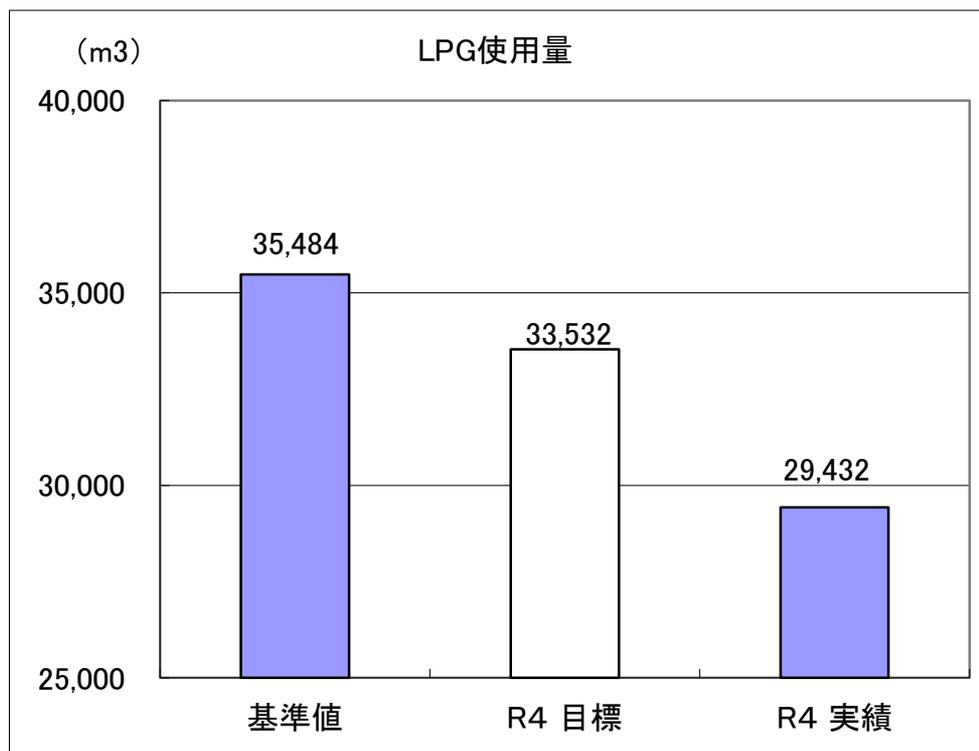


A重油使用量は55,122ℓで、5.5%の削減目標に対し、15.5%の減となり、目標を達成しました。

A重油は、主に給食センターや指定管理施設の給湯器、空調機などの燃料に使用されています。

減少の理由としては、非常用発電機に使用しなかったこと、たばこ育苗センターでの使用量が基準年に比べ少なかったことなどが挙げられます。

LPG使用量

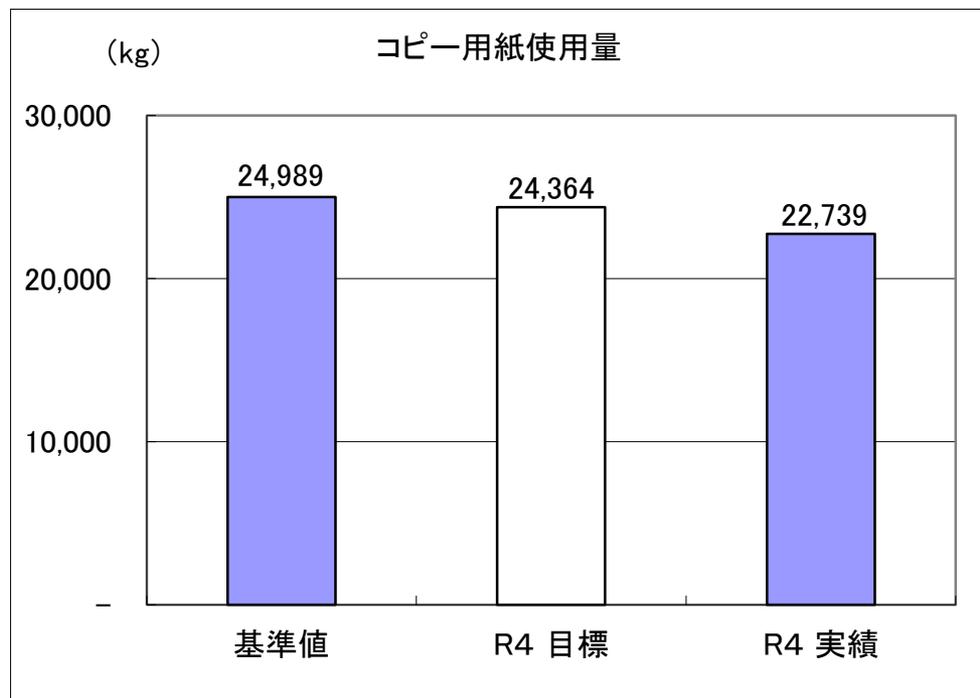


LPG使用量は29.432m³で、5.5%の削減目標に対し、17.1%の減となり、目標を達成しました。

LPGは、主に調理や給湯に使用されています。

コロナで調理実習などの事業が中止したこともあり、多くの施設において使用量が減少したことが主な要因です。

コピー用紙使用量

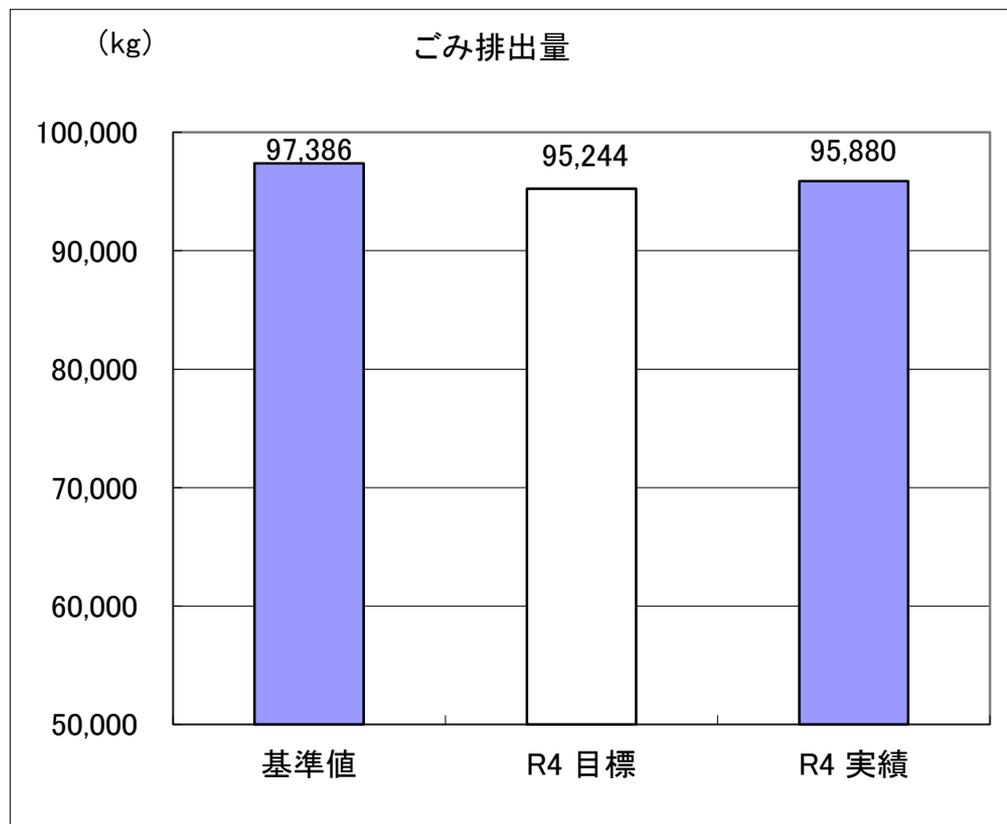


コピー用紙使用量は22,739kgで、2.5%減の目標に対し、9.0%の減となり、目標を達成できました。

基準年度以降に文書管理システムが導入されたことや、議案書や会議資料のタブレット化が削減の要因と考えられます。

今後も用紙の裏面利用、電子決裁の推進、会議資料の電子化など、さらなるペーパーレス化にご尽力をお願いします。

ごみ排出量



ごみ排出量は95,880kgで、4.4%の削減目標に対し、1.5%の減となり、目標を達成できませんでした。

引き続きリサイクル可能な紙ごみの分別、私的なごみの持ち帰りを徹底することをきっかけに、ごみが出ないように生活習慣を見直すなど、取り組みの継続をお願いします。

温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）

項目	温室効果ガス	使用量等	排出係数	地球温暖化係数	二酸化炭素換算排出量
電気使用量	二酸化炭素	7,677,883 kwh	0.484	1	3,716,095 kg - CO ₂
灯油使用量	二酸化炭素	161,707 ℓ	2.49	1	402,650 kg - CO ₂
A重油使用量	二酸化炭素	52,122 ℓ	2.71	1	141,251 kg - CO ₂
軽油使用量	二酸化炭素	84,130 ℓ	2.58	1	217,055 kg - CO ₂
ガソリン使用量	二酸化炭素	57,258 ℓ	2.32	1	132,839 kg - CO ₂
LPG使用量	二酸化炭素	29,432 m ³	6.55	1	192,780 kg - CO ₂
公用車走行距離	メタン	1,078,183 km	—	21	7,879 kg - CO ₂
	一酸化二窒素		—	310	
					4,810,549 kg - CO ₂

【二酸化炭素換算排出量の推移】

単位: kg-CO₂

	電気	灯油	A重油	軽油	ガソリン	LPG	公用車	合計
令和4年度	3,716,095	402,650	141,251	217,055	132,839	192,780	7,879	4,810,549
令和元年度	3,895,661	397,299	167,212	201,485	186,270	232,420	10,042	5,090,391
増減率 R4/R1	△4.6%	1.3%	△15.5%	7.7%	△28.7%	△17.1%	△21.5%	△5.5%

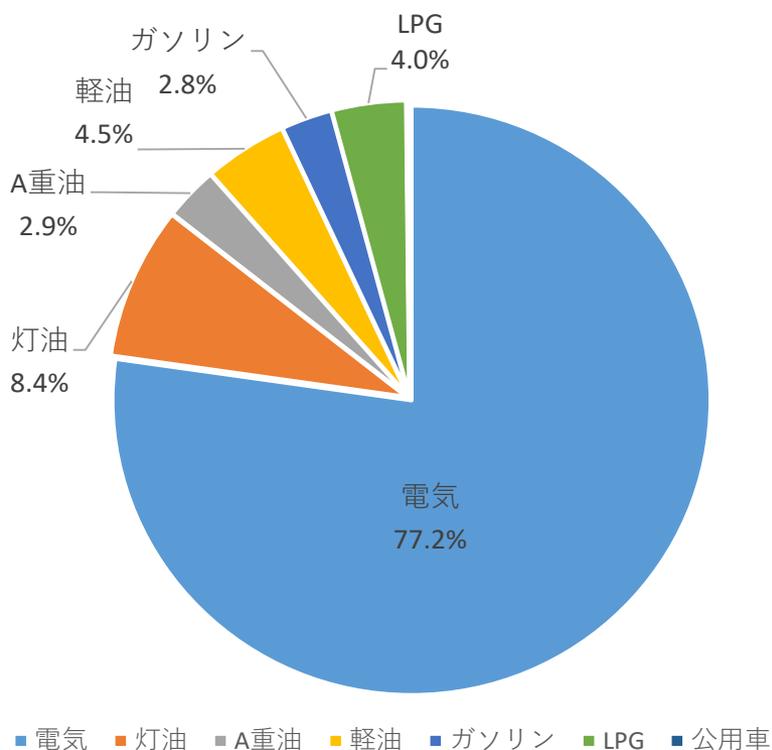
令和4年度 エコオフィスプラン目標達成状況一覧

項目	基準値	目標	令和4年度 実績	達成状況
電気(CO2排出量)	3,895,661 kg-CO2	3.2% ↓	4.6% ↓	○
水道使用量	116,018 m ³	2.5% ↓	8.2% ↓	○
ガソリン(CO2排出量)	186,270 kg-CO2	5.5% ↓	28.7% ↓	○
軽油(CO2排出量)	201,485 kg-CO2	5.5% ↓	7.7% ↑	×
灯油(CO2排出量)	397,299 kg-CO2	5.5% ↓	1.3% ↑	×
A重油(CO2排出量)	167,212 kg-CO2	5.5% ↓	15.5% ↓	○
LPG(CO2排出量)	232,420 kg-CO2	5.5% ↓	17.1% ↓	○
コピー用紙使用量	24,989 kg	2.5% ↓	9.0% ↓	○
ごみ排出量	97,386 kg	4.4% ↓	1.5% ↓	×
公用車走行距離(CO2排出量)	10,042 kg-CO2	0.6% ↓	8.9% ↓	○
温室効果ガス排出総量	5,090,391 kg-CO2	3.6% ↓	5.5% ↓	○

※基準年度は2019年度実績

温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）

令和4年度 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）



二酸化炭素排出量
4,810,549 kg-CO₂

温室効果ガス排出量は4,810,549kg-CO₂で、3.6%の削減目標に対し、5.5%の減少となり、目標を達成できました。

R4年度は軽油の項目で基準年度を上回りましたが、スキー場の長期間の営業、コロナ対策で換気をしながら空調設備の利用など、仕方がない部分もあります。

一方、ここ数年削減ができていた項目も、コロナの影響を受けている部分が多く、R5年度は行事や事業の再開が見込まれ、多くの項目がコロナ禍前の基準年度の水準に戻る事が予想されます。

業務に最低限のエネルギーは必須ですが、無駄遣いやより効率的な使用方法がないかを検証したり、施設、設備の改修等の際、省エネ・省資源を重視したランニングコストも含めたトータルコストを熟考したりするなど、長期的な視点に立って、日々エコ活動に取り組んでいただきたいと思います。

令和5年度エコオフィスプラン目標一覧

項目	基準値	令和5年度目標
電気(CO2排出量)	3,895,661 kg-CO2	4.8% ↓
水道使用量	116,018 m ³	2.5% ↓
ガソリン(CO2排出量)	186,270 kg-CO2	8.25% ↓
軽油(CO2排出量)	201,485 kg-CO2	8.25% ↓
灯油(CO2排出量)	397,299 kg-CO2	8.25% ↓
A重油(CO2排出量)	167,212 kg-CO2	8.25% ↓
LPG(CO2排出量)	232,420 kg-CO2	8.25% ↓
コピー用紙使用量	24,989 kg	2.5% ↓
ごみ排出量	97,386 kg	6.6% ↓
公用車走行距離(CO2排出量)	10,042 kg-CO2	0.85% ↓
温室効果ガス排出総量	5,090,391 kg-CO2	5.4% ↓

※基準値は2019年度実績